



岩室地区

岩室地区は、市の中央西端に位置し戸数60軒程度の小さな地区です。地区の中央に西高野街道が通り、大阪狭山市と堺市の境界線があります。岩室地区のまち並みは昔と変わらない雰囲気をとどめ、行基の開基と伝えられている岩室山観音寺が堺市側にあります。地名の由来は、今は無き古墳の岩室から生まれたという伝え話があります。岩室墓地が堺市南区側にあり、山本南、岩室、池之原、上今熊地区の墓地で、集落の起源をうかがわせています。

- ①②西高野街道に立つ道標(右 あまの山二里 左 かうや山十里と表記)
- ③西高野街道沿いの「岩室郵便局」「家塾」の石碑
- ④⑤岩室観音寺と鐘楼(大晦日に除夜の鐘として西地区に響き渡る)

構成員の募集

第三中学校区まちづくり円卓会議の構成員になって、まちづくりをご一緒にしませんか。資格も技術もいりません。まちを思う心で新しいまちづくりを始めましょう。

宮崎俊三 090 (3722) 0685
 中辻 功 090 (8751) 5250
 西井兼一 090 (1442) 4470
 田中哲夫 090 (8124) 2453
 または、san-en@va.u-netsurf.jp

MY notebook

住んで楽しい
 住んでみたい
 住んでよかった

第3号

三中円卓通信

第三中学校区まちづくり円卓会議 平成25年1月発行

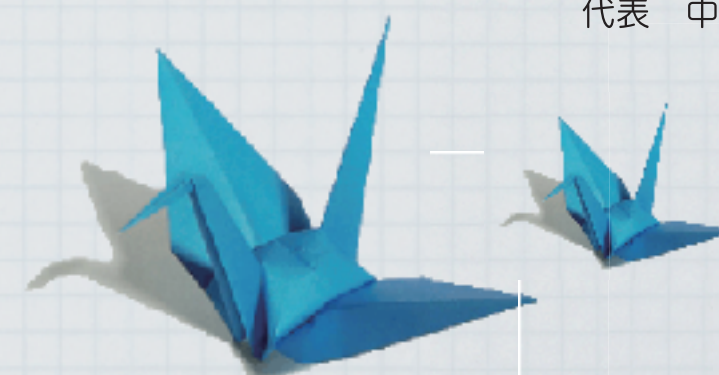


新年あけましておめでとうございます。
 去年は第三中学校区まちづくり円卓会議の活動に格別のご協力を頂き、誠にありがとうございました。

各チームが新規のプロジェクトに取り組み、サンネットフェスタにも参画し楽しいときを過ごすことができました。魅力再発見チームが作成した「魅力再発見マップ」を2月中に皆さんにお届けします。菜の花チームは菜の花の種を配布しています。春には黄色い花が第三中学校区内で見られることでしょう。

平成25年度の予算も申請し、今年は三中円卓会議の成熟期にしたいと思います。皆様の引続きのご支援をお願い申し上げます。益々のご健勝とご活躍をお祈りします。

代表 中林眞佐男



第三中学校区まちづくり円卓会議

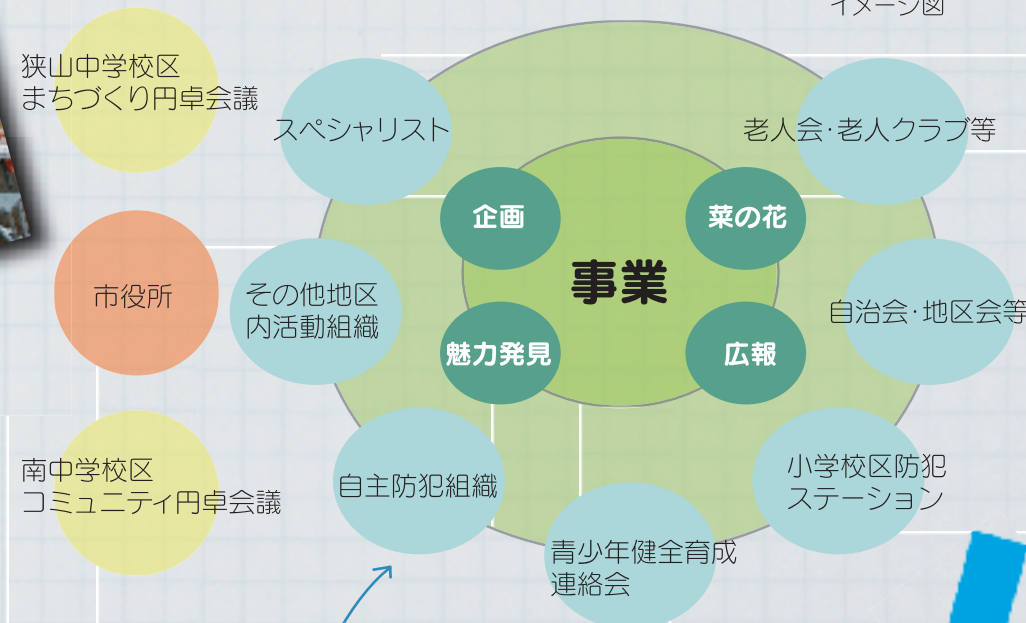
円卓会議とは、市内にある中学校区ごとに分かれ、「地域のことは地域で考え、実践する」市民活動です。
私たち円卓会議では、「住んで楽しい」「住んでみたい」「住んでよかった」と思えるまちづくりをめざし、自主的・自発的な活動に取り組んでいます。

町 まちづくり

- 構成団体
自治会・住宅会、NPO、市民活動団体、事業所等
- 地域の有志が呼びかけ人となって設立
- 地域の課題を掘り起し、解決するために行動
- 市へ地域内の事業に関する予算措置を提案

第三中学校区まちづくり円卓会議

イメージ図



第三中学校区まちづくりは地域のつながりをつくっていく

報 活動報告



「まちを散策する様子」

まちの魅力を伝えたい ～ 魅力再発見チーム ～

魅力再発見チームは、マップについてのイメージや構成内容などの編集会議をかさね、ウォーキングモデルコースを歩いてみました。地図と時計を見ながら、「こんなところに石灯籠、地蔵尊がある」「こんな場所があったんだ」など、チームで楽しみながら地域の魅力を再発見しました。

なお、作成したマップは、2月中に配布を予定しています。

臨時総会

～ 第三中学校区まちづくり円卓会議 ～

平成24年9月27日(木)、大阪狭山市役所3階第1・2会議室で、第三中学校区まちづくり円卓会議臨時総会を行いました。この総会において、平成25年度地域コミュニティネットワーク事業予算提案(案)が議決されました。

企画チーム

- 議演会開催
- 円卓活動備品の購入など

魅力再発見チーム

- マップを利用したウォーキングの開催など

菜の花チーム

- 菜の花栽培の促進
- 菜の花のサイクル研修

広報チーム

- 三中円卓通信 2回／年発行
- ホームページ作成など

議決された(提案)は、市の平成25年度予算として審議される

サンネットフェスタに参画 ～ 企画チーム ～



「菜の花の苗を配布する会長」



「南京玉すだれ体験」



「円卓会議展示ブース」

平成24年12月8日(土)、第三中学校で行われたサンネットフェスタに円卓会議が参画しました。菜の花の苗の配布、展示、落語・南京玉すだれ・和太鼓などを開催しました。

報 活動報告

BDFの必要性を考えるために ～ 菜の花チーム ～

平成24年10月21日(日)、尼崎市立成良中学校で山田周生さんの講演「てんぷら油で地球一周 山田周生さんと考える災害地から学ぶ私たちができること」に参加しました。

まず初めに、あおぞら財団／小平研究員から、天ぷら油の回収方法等について説明がありました。この財団では、西淀川高校で菜の花菜園をはじめ、天ぷら油の回収にも力を入れています。昨年度3980ℓの油を回収するなど活動の場を広げています。

講師の山田さんは、使用済みの天ぷら油を車中でBDFに精製し地球を一周したフォトジャーナリストです。世界一周の完走後、岩手県花巻市で東日本大地震に遭い、その直後から被災地で支援活動を続けています。車はガソリンを利用しないため、物資の輸送や情報の収集など走り回ることができたそうです。「化石燃料は将来枯渇するはず、そうなればガソリンの奪い合いもさけられない。子どもたちの将来を考えたとき何をすべきか決まる。BDFを安く給油できるようにすべき」と、現在は「菜の花大地震復興プロジェクト」を立ち上げ、釜石市を拠点に精製活動を行っています。BDF1ℓで車は7～8キロ走ります。1ℓのBDFを精製するのに天ぷら油が約1.1ℓで充分です。

※BDF: バイオディーゼル燃料



「BDFで動く車と菜の花チームの佐藤さん」